

巻頭 特集

# 平成26年 町長・議長 新年のご挨拶



宇美町長  
**安川 博**



宇美町議会議長  
**白水 英至**

### 新年のご挨拶

町民の皆様には、希望に輝く新年をお迎えのことからお慶び申し上げます。また、旧年中は、町政への温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、2020年東京五輪の開催決定や富士山の世界文化遺産登録が官民のチームワークで実現したこと、また、国内外で起きた災害からの復興に支援の輪が広がったことなどから、世相を表す漢字に「輪」が選ばれました。

本町におきましても、「まなびの森」に育む地域力で築く共働のまちづくりを基本理念に掲げた第5次総合計画を推進していく中で、町民の皆様が自治意識が次第に高まり、環境問題、教育、子育て、防犯等々、幅広い分野で多くの町民の皆様にご参画をいただいております。官民連携による共働の「輪」が広がってきており、大変嬉しく思っている次第であります。

さて、本年は、町のすべての計画の基本となる「宇美町第6次総合計画」

### 議長年頭のあいさつ

明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政の推進と議会活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、「富士山」の世界遺産登録や「和食 日本人の伝統的な食文化」の無形文化遺産登録や2020年東京オリンピック決定など、日本経済の厳しい中にも明るい話題の多い一年でした。

一方、国政は、東日本大震災の復興を加速させるとともに、経済再生の実現に向けてさまざまな取り組みが進められた年でもあります。

しかしながら、我が町におきましては、厳しい社会情勢の影響や少子高齢化の進展などの課題により、経済の再生を実感するまでには至っておりません。

さて、議会に目を向けますと、地方議会のあり方が問われている今、

の策定をはじめ、都市計画に関する基本的な方針を定めた「宇美町都市計画マスタープラン」を策定する大切な年になってまいります。また、ライフスタイルの変化や超高齢化社会への備えの必要性に加え、地域の絆や人とのつながりが再認識されるようになってきたことなどから、本町では、行政区の枠を越えて、小学校区を一つのコミュニティ範囲として捉え、モデル的に活動していただく「宇美町地域コミュニティ推進事業を進めてまいります。

いずれの事業につきましても、町民の皆様のご意見を十分に反映できるよう住民アンケートの結果や町民まちづくり検討会いただいたご意見などを参考に進めてまいりたいと思っておりますので、今後、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。迎えました新年が、町民の皆様にとりまして健康で幸せに満ちた一年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

当議会といたしましては、平成23年12月に設置した、議員全員による議会活性化調査特別委員会にて鋭意研究をかさね、「町民の負託に全力で応え、信頼できる議会」を実現するため、昨年9月に議会の基本となる「宇美町議会基本条例」を制定いたしました。今後、条例の精神に基づき更なる改革・活性化を図りながら、議員の意識改革や住民参加の推進等を行い、議会の役割である行政への監視及び評価に努めていく所存でございます。

当議会の現職の議員は、3月5日に任期満了を迎えますが、この4年間、町民の皆様温かいご支援とご協力によりまして、微力ながら町政に参画出来たことに対し、議員一同改めてお礼の言葉を申し上げます。

本年が町民の皆様にとりまして素晴らしい年となりますように、ご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

